

2019年度 第1回ヘルスケア・医療福祉機器技術研究交流会 開催報告

「ヘルスケアビジネス創出の最前線と中国地域の研究シーズ・ニーズ」

主催：公益財団法人中国地域創造研究センター 後援：一般社団法人中国経済連合会

【概要】

公益財団法人中国地域創造研究センターは、2019年7月26日(金)、広島市の広島県民文化センター「サテライトキャンパスひろしま」において「2019年度 第1回ヘルスケア・医療福祉機器技術研究交流会」を開催しました。本交流会は、中国地域企業のヘルスケア・医療福祉機器分野への新規参入や新製品・事業化につながる出会いの場となることを期待して、この分野の最新情報や大学等における研究シーズ・ニーズを紹介するものです。「ヘルスケア」をテーマとする今回は、「ヘルスケアビジネス創出の最前線と中国地域の研究シーズ・ニーズ」と題して開催しました。

講演では、ビジネス創出の最前線におられる企業2社の取組みを紹介すべく、(株)タニタの新藤 幹雄 氏から「健康総合企業」を目指すタニタの取組みと将来像について、日本電気(株)の上條 憲一 氏からヘルスケア領域でのICT活用の取組みについて紹介していただきました。参加者からは、「今後のヘルスケアの取組み・方向性がよく分かり、大変参考になった」、「AI、ICTの活用状況が理解でき勉強になった」といった声をいただきました。

研究シーズ・ニーズ発表では、県立広島大学の狩谷 明美 准教授から、誤嚥・フレイル対策のセルフメディケーションに用いる呼気圧計測器の開発について、続いて県立広島大学の小池 好久 教授から、注意機能改善・血圧降下を誘発する四肢振動音響療法の機器開発について、最後に広島大学の中村 浩士 客員教授から、ストレス・痛みを数値化するブレイン・センシング技術の開発について紹介していただきました。

これらの発表に対して2社が関心を示され、今後、マッチングに向けた事業化検討を進めて参ります。

【講演風景】



【日程・場所】

日時：2019年7月26日(金) 13:30~17:15

会場：広島県民文化センター「サテライトキャンパスひろしま」(広島市中区大手町 1-5-3)

【参加者】 93名

【プログラム】

- (1) 講演1 「タニタが目指す“健康総合企業”の将来像とその取組み」
株式会社タニタ 執行役員 コア技術研究所担当 品質監査部担当 新藤 幹雄 氏
- (2) 講演2 「新時代を切り拓く NEC のヘルスケア ICT」
日本電気株式会社 デジタルヘルスケア事業開発室 主席ヘルスケア技術主幹 上條 憲一 氏
- (3) 研究シーズ・ニーズ発表1 「誤嚥・フレイル対策のセルフメディケーションに用いる呼気圧計測器の開発」
県立広島大学 保健福祉学部 看護学科 准教授 狩谷 明美 氏
- (4) 研究シーズ・ニーズ発表2 「注意機能改善・血圧降下を誘発する四肢振動音響療法の機器開発」
県立広島大学 保健福祉学部 作業療法学科 教授 小池 好久 氏
- (5) 研究シーズ・ニーズ発表3 「ストレス・痛みを数値化するブレイン・センシング技術の開発と地域包括ケアシステムへの実装」
国立病院機構 呉医療センター・中国がんセンター 総合診療科／
広島大学 医学部 客員教授 中村 浩士 氏



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助を受けて実施しました。

<https://www.jka-cycle.jp/>